

超党派フリースクール等議員連盟幹事 / 元文部科学大臣政務官  
浮島とも子 議員

教育は日本の柱。社会のための教育ではなく、教育のための社会づくりを日々全力で。そのような思いで、希望あふれる未来を目指し、歩ませていただいている日々です。多様な教育機会を整備していく「教育機会確保法」は、今日の教育・家族・社会のニーズに応える画期的で重要な法律です。私もこの2年あまり、最優先で立法チームの会議に参加し、取り組ませていただきました。

その日々の中で、チア・にっぽんの皆さんと出会い、ホームスクーリングをめぐる世界の法制度の歴史や、家族・教育の回復を目指して、日本で17年、積極的に、明るく、真剣に学習に取り組んでおられる姿を知ることができました。

この2年の前半の240日間をまとめたチア・にっぽんマガジン43号『多様な教育法案 特集号』に続き、チア・にっぽんマガジン44号『特集 続・多様な教育をめぐる教育機会確保法案—その後の240日間の舞台裏』が刊行されましたことは、大変、うれしいことです。

同法案をめぐる480日間の記録、各先生方との対談を始め、新たな教育法案の深層を描くと共に、「教育」の側面から、歴史の尊い断面が切り取られているのではと思います。

私は、文化・芸術の力による「躍動・感動・ニッポン」も目指しています。チア・にっぽんから刊行された三浦綾子さんの絵本『したきりすずめのクリスマス』は、とても素敵な作品でした。こうした文化・芸術面からも、心を養い育てる姿勢も素晴らしいと思います。

ボランティア活動、英語教育、スポーツも活発に展開され、教育に重きをおいて真面目に取り組んでおられる姿も知り、今後、ますます期待しています。

